

各位

会社名 株式会社オリエントコーポレーション
代表者 代表取締役社長 飯盛 徹夫
(コード番号: 8585、東証プライム)
問合せ先 財務部 I R 室長 西田 隆浩
(TEL. 03-5877-1111)

2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表しました2024年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 231,000	百万円 25,000	百万円 25,000	百万円 20,000	円 銭 116.37
今回修正予想 (B)	227,800	15,000	15,000	12,000	69.96
増減額 (B-A)	△3,200	△10,000	△10,000	△8,000	
増減率 (%)	△1.4	△40.0	△40.0	△40.0	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	227,693	23,070	23,070	19,035	110.92

2. 修正の主な理由

業績の下方修正の主な理由は、海外事業における貸倒関係費の増加によるものであります。

当社は、現中期経営計画において、海外事業を重点分野の一つと位置付け、タイ・フィリピン・インドネシアにおけるオートローン事業に注力しております。

一方、これら3か国を含めた東南アジア諸国につきましては、依存度の高い中国経済の減速を背景に国内総生産成長率が鈍化するとともに、インフレの継続により内需が低迷するなど経済的に大きな影響を受け、各国における消費者向けローンの不良債権比率が高まっております。

そのような中、特に主力のタイ子会社において急速な業容拡大に管理体制の強化が追いつかず、取り扱うオートローンの延滞発生率が上昇し、想定以上に延滞債権が増加致しました。

延滞債権の増加への対応として、回収体制の強化、新たな延滞発生への抑制に向けた与信基準の厳格化による債権良質化に努めておりますが、今年度の貸倒関係費は期初計画を大幅に上回り、これを主因として、当期の経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなったものであります。

なお、各種取り組みにより、足許の債権パフォーマンスには良化傾向が見られており、成長が見込まれる海外事業につきましては、リスク管理の強化を図りながら、引き続き重点分野として注力して参ります。

また、安定的かつ継続的な還元を目指す株主還元の基本方針に基づき、期末配当金につきましては前回公表内容から変更はありません。

以上